世代超え愛され歌い継がれる
唱歌「牧場の朝」

町のシンボルソングとして長く愛されてきた唱歌「牧場の朝」。お昼や夕方、学校のチャイムなど、町内では様々な場面でこのメロディを聞くことができます。町民の皆さんにとっておなじみのこの歌について、皆さんはどんな歴史があるかご存じですか。今月号では、唱歌「牧場の朝」の歴史や町との歩みについてご紹介します。

歌碑建立に至るまで

岩瀬牧場がモデルとなった唱歌「牧場の朝」は、昭和7年（1932年）に文部省唱歌に制定されて以来、子どもから大人まで多くの人々に愛され、今日まで歌い継がれています。

「牧場の朝」は、43歳という若さでこの世を去った作曲家の船橋栄吉氏によって作曲されましたが、作詞者が長らく不明となっていました。

しかし、昭和38年に鏡石町診療所長として赴任した医師の最上寛氏が「牧場の朝のモデルは岩瀬牧場らしい」という話に興味を持ち、独自に調査を行い、それを支えた作曲家の平井康三郎氏、関係者の協力により、明治時代の文筆家で元朝日新聞記者の杉村楚人冠氏の作詞であると断定されました。

町が「牧場の朝」のモデルであることは、新聞やテレビ、ラジオなどで報道されることとなり、町の知名度の向上に繋がりました。

町はこれを顕彰して、昭和58年11月に、鳥見山公園の一角に記念の歌碑を建立し、改めて「牧場の朝」を町のシンボルソングとして定めるものとしました。

碑正面の歌詞は平井氏、楽譜は船橋氏の長女である豊子氏の揮ごうによるもので、町が「牧場の朝」発祥の地であることを表す記念碑として、建立から42年が経つ現在もその形を変えることなく静かに公園内に佇んでいます。

町は、唱歌「牧場の朝」を各種事業を通して、今後も町内外に発信し、地域ブランドとして確立していきます。

牧場の朝を題材にした 2023 年の田んぼアート

Interview

岩瀬牧場
営業 / 広報
菊多 美咲 さん

岩瀬牧場は、町のシンボルであり、歴史ある牧場という印象があり、県内外の方にも周知いただいている特別な場所だと思います。

これからも、多くの方々に充実した時間を過ごしてもらえるよう、また、地域活性の役割を担えるような場所を目指していきたいです。

あやめサークル
吉田 ミネ子 さん

オランダ祭りなど町のイベントで「牧場の朝」を歌い続けて 35 年になりました。パートが分かれているので、ふたつのハーモニーが重なるところが綺麗で、牧場の爽やかな情景が思い浮かびます。町のシンボルソングとして、これからも町の皆様に歌い継がれてほしいですね。

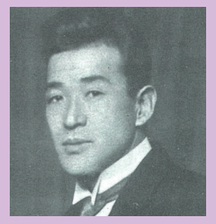
牧場の朝

杉村 楚人冠／作詞
船橋　栄吉／作曲

ただ一面に立ちこめた
牧場の朝の霧の海
ポプラ並木のうっすりと
黒い底から　勇ましく
鐘が鳴る鳴る　かんかんと

もう起き出した小舎小舎の
あたりに高い人の声
霧に包まれ　あちこちに
動く羊の　幾群の
鈴が鳴る鳴る　りんりんと

今さし昇る日の影に
夢からさめた森や山
あかい光に染められた
遠い野末に　牧童の
笛が鳴る鳴る　ぴいぴいと



船橋 栄吉 氏
作曲家
「牧場の朝」の作曲者

杉村 楚人冠 氏
文筆家
「牧場の朝」の作詞者

岩瀬牧場とわが町

本町のシンボルである岩瀬牧場は、日本最初の国営牧場で、１４０年の歴史があります。明治の初めに２６７７ヘクタールもの広大な原野を宮内庁直営の「順宣牧場」として開墾したのが始まりです。

その後、明治40年（１９０７年）に日本初となる13頭のオランダホルスタインという乳牛と農機具をオランダから導入し、西欧式牧場としてスタートしました。このときに、友好の証としてオランダから町の指定文化財にも指定されている青銅の「オランダの鐘」が贈られています。牧場で朝、昼、晩、そして作業の始まりと終わりの時刻を告げることになったこの鐘は、唱歌「牧場の朝」の中でも歌われており、時代を超えて子どもから大人まで幅広い年代の人々に親しまれてきました。

また、大正から昭和に入ると、大型農機具をいち早く導入し、食糧増産の場として大規模な経営を行っていましたが、戦後の農地改革により面積は29ヘクタールほどに縮小され、その後福島県に移管されます。

現在は、ミニ動物園や植物園、体験農場などを併設した私営の観光牧場となり、休日は多くの家族連れで賑わう一方、場内には開墾当時を偲ぶ牛舎や旧事務所、とうもろこし乾燥舎などが昔と変わらない姿で残っており、サイロや牛乳運搬のトロッコなども大切に保存され、日本の酪農の歴史を今に伝えています。

●問い合わせ先
企画財政課
☎62－2117

唱歌「牧場の朝」が町のシンボルソングとなるまでの経緯をまとめた動画はこちらのQRコードからもアクセスできます。ぜひご覧ください。

町 HP ▼

唱歌「牧場の朝」のつどい開催のお知らせ

歌碑建立 40 周年より毎年開催しているイベント、唱歌「牧場の朝」のつどいを今年も開催します。

- **日時**　10 月 26 日㈰ 9 時 30 分～
- **場所**　町健康福祉センター　多目的室
- **内容**
  - 第１部　民族楽器演奏会（中国の伝統楽器古琴）
  - 第２部　声の魔法で旅する音楽の時間
    オペラガラコンサート・体験型オペレッタ
  - 出演者　佐藤慈雨、上原正敏、加藤美帆、
    渡辺文子、多羅尾睦恵　ほか

第２部の出演者を募集します！

第２部のワンシーンを一緒に演じてみませんか？興味のある小学生（１～６年生）は、町企画財政課にお問い合わせ、または右の QR コードでお申し込みください。

申込フォーム